第146号

願いを込めて　昇る　登った　吾妻山（初日の出）

湘南 にのみや 議会だより

平成24年
12月定例会
12／6～12／14

▶正副議長が決定！委員会の構成も…… ２Ｐ
▶議案、陳情に対する賛否…… ４～５Ｐ
▶一般質問で７議員が登壇…… ６～９Ｐ
▶平成25年私の抱負…… 10～11Ｐ
▶もっと知りたい蘇峰堂の魅力・カメラルポ…… 12Ｐ

３月定例会のお知らせ

２月26日（火）から開会の予定
本会議・委員会の傍聴できます－お気軽にどうぞ－

任期2年目の改選

自己研鑽と提案型の議会運営を目指す

二宮町議会は、12月6日の定例議会において、正副議長選が行われた。

議長に池田宏議員、副議長に小笠原陶子議員を選出した。

選挙に先立ち本会議で立候補者の所信表明が行われた。

結果は次のとおり。

◆議長選挙

池田　宏　6票
西山宗一　6票
白票　1票
くじ引きにより決定

◆副議長選挙

小笠原陶子　6票
二見泰弘　6票
白票　1票
くじ引きにより決定

監査委員

議会選出の監査委員に三橋智子議員を選任することについて町長より同意を求められ、全会一致で同意した。

任期2年目の折り返し、各常任委員会も改選が行われた。

選考は各議員が委員会志望アンケートを提出、正副議長を含む6名の選考委員会で決定した。

また、議会運営委員会及び議会だより編集委員他の委員会の委員が選出された。

議会の構成

議　　長　池田　宏
副 議 長　小笠原陶子
監査委員　三橋　智子

議会運営委員会

委 員 長　杉崎　俊雄
副委員長　神保　順子
委　　員　西山　宗一
浅賀　一伸
根岸ゆき子
近藤　行宏

二宮町議会基本条例制定特別委員会

委 員 長　二見　泰弘
副委員長　根岸ゆき子
委　　員　小笠原陶子
神保　順子
桑原　英俊
添田　孝司
三橋　智子

議会だより編集委員会

委 員 長　根岸ゆき子
副委員長　脇　正文
委　　員　杉崎　俊雄
桑原　英俊
近藤　行宏
三橋　智子

教育福祉常任委員会

委 員 長　脇　正文
副委員長　浅賀　一伸
委　　員　神保　順子
根岸ゆき子
二見　泰弘
池田　宏

総務建設経済常任委員会

委 員 長　添田　孝司
副委員長　西山　宗一
委　　員　小笠原陶子
杉崎　俊雄
桑原　英俊
近藤　行宏
三橋　智子

議会で決まったこと

条例の制定

一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定

公務の能率的運営を確保するため、任期を限定して職員を採用できる制度を設置。原則3年まで。

平成25年4月1日施行。

全会一致で可決。

条例の一部を改正する条例

特別職員報酬費用弁償の額並びに支給方法条例

非常勤嘱託員の通勤に要する交通費の支給基準を新たに定めた。

平成25年4月1日施行。

全会一致で可決。

証人等の実費弁償に関する条例

委員会と同様に本会議においても、公聴会の開催や参考人の招致が出来ることになった。地方自治法で条文が新設されたことに伴うもの。

公布の日から施行。

全会一致で可決。

二宮町税条例

地方税法の一部改正に伴うもので、主に、平成26年度から10年間、個人町民税に5百円を加算するもの。

防災対策事業費とすることについて質疑、討論が行われた。

反対討論として「使途が明確でない増税は反対」賛成討論として「防災事業の特例であることを町民に理解していただくことが必要」

11対1で可決。

国民健康保険税条例

減免の申請など、許認可等を拒否する場合、その決定の理由を示すこととしたもの。

平成25年1月1日施行。

全会一致で可決。

ごみ焼却場の整備運営に関する事務の委託に関する協議について

平塚市にごみ焼却施設の整備運営に関する事務を委託する規約の協議を行うため、その規約が提案された。

平成25年2月1日から施行。

ただし、可燃ごみ搬出開始による、ごみ焼却処理に関する事務の委託は平成28年4月1日から施行。

全会一致で可決。

平塚市、大磯町及び二宮町消防通信指令事務協議会の設置に関する協議について

消防通信指令事務を共同して行うため、平塚市、大磯町及び二宮町消防通信指令事務協議会を設置する規約について協議を行うためその規約が提案された。

平成25年1月1日から施行。

全会一致で可決。

専決処分

衆議院解散総選挙の執行予算

11月16日に衆議院が解散したことに伴い、補正予算を専決処分で決定した。総額1千413万円は県からの委託金による。

補正予算

すべて全会一致で可決

一般会計

歳入歳出それぞれ127万1千円を増額し、予算総額76億7千638万3千円とした。

歳出の主なものは、公共施設整備基金などへ積立金5千万円増。可燃ごみ処理処分委託料457万5千円の増。議員報酬226万4千円、期末手当76万8千円の減は1名欠員によるもの。

社会福祉費の一般職員人件費として1千96万1千円の減。

質疑として、

問 公共施設積立金は定期的に予定されるか。

答 将来の施設計画に向けてのものだが、積立は余剰が出たときになる。

クリーンな作業で効率よく

問 生ゴミ処理機補助金を増やした内容は。

答 電動型10台→16台、非電動型40台→82台に

問 可燃ごみの増加量は。

答 2・8%の減量目標としたが結局150t増。

国民健康保険特別会計

増額の主なものは、一般被保険者高額療養費2千897万円、特定健診委託料57万5千円で、減額の主なものは、一般経費の人件費629万3千円、予備費2千933万5千円などであった。歳入歳出それぞれ604万1千円を減額して予算総額を36億8千639万7千円とした。

後期高齢者医療特別会計

増額の主なものは、健康診査事業費98万6千円、減額の主なものは、一般経費の人件費112万円で歳入歳出それぞれ13万4千円を減額して予算総額を6億7千853万4千円とした。

介護保険特別会計

包括的支援事業費減15万1千円と介護給付費準備基金積立金を減額し、人件費172万8千円の増額などで、139万4千円を追加し、予算総額を20億9千808万6千円とした。

下水道事業特別会計

一般経費の人件費562万円を減額し、予算総額を8億8千572万8千円とした。

人権擁護委員の選任

人権擁護委員の推薦について意見を求められ、飯島貴夫氏（70）〔富士見が丘〕、要　司氏（69）〔富士見が丘〕を全会一致で同意した。

任期は3年、3期目。

☆議案・陳情に対する賛否

議案番号	議案及び陳情 ＼ 議員名（議席順）	小笠原陶子	西山宗一	杉崎俊雄	浅賀一伸	神保順子	桑原英俊	脇　正文	添田孝司	根岸ゆき子	近藤行宏	二見泰弘	三橋智子	池田　宏	結果
	町長提出議案名														
60	人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
61	人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
62	専決処分の承認を求めることについて（一般会計補正予算第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
63	二宮町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
64	特別職員報酬費用弁償の額並びに支給方法条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
65	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
66	二宮町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
67	二宮町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
68	神奈川県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
69	ごみ焼却施設の整備運営に関する事務の委託に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
70	平塚市、大磯町及び二宮町消防通信指令事務協議会の設置に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
71	平成24年度二宮町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
72	平成24年度二宮町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
73	平成24年度二宮町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
74	平成24年度二宮町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
75	平成24年度二宮町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
76	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	可決
	陳情名（左は陳情番号）													＼	
6	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情	△	○	△	○	○	△	△	△	△	△	△	△	＼	趣旨採択
7	介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情	○	△	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△	＼	趣旨採択
8	社会福祉関係の県単独補助制度などの廃止に反対し、継続を求める意見書の提出を求める陳情	△	○	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△	＼	趣旨採択
9	国保への国庫負担の拡充を求める国への意見書提出についての陳情	△	△	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	＼	趣旨採択
10	県民のいのちと暮らしをまもる県単独制度と県有施設等の継続を求める陳情	△	○	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△	＼	趣旨採択
11	消費税増税中止を求める国への意見書提出についての陳情	●	△	△	○	●	●	●	●	●	●	●	●	＼	不採択
12	建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	採択・国に意見書提出
13	二宮町の医療・福祉制度を維持・継続するため、県補助金を継続するよう県に意見書提出を求める陳情	△	○	○	○	△	△	△	△	○	△	△	△	＼	趣旨採択

※議案番号60～76について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。
※陳情については、○は採択、△は趣旨採択、●が不採択です。
※池田　宏議長を除く12名の議員の賛否状況です。（議員定数14名のうち、1名欠員）

陳情はどうなった？

陳情の件名	陳情内容	討論など審査内容	本会議採決
安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情	医師、看護士、介護職員など医療・福祉労働者を大幅に増員すること、看護師など夜勤交替制労働者の労働時間を1日8時間にする事などを求めるもの。	「国、県は医師、看護士、介護職員などの人材育成にすでに取組んでいるので様子をみるべき。」「看護職員が、疲労困憊した現場では、患者は安心して医療を受けられない。実態を伝えることが必要。」	趣旨採択 賛成9人
介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情	介護職員の不足は深刻で、離職者が依然として高い。「介護崩壊」を食い止め、安全・安心の介護を実現するため、介護職員確保に向け賃金改善などの処遇改善のため交付金を継続すること。また、その対象を介護職員以外にも拡大することなどを求めるもの。	「国は、処遇改善に取組むとしている。財源確保の面などから慎重な判断が必要。」「根本的に社会制度として国が補償する部分だ。一刻も早い対応が必要。」	趣旨採択 賛成10人
社会福祉関係の県単独補助制度などの廃止に反対し、継続を求める意見書の提出を求める陳情	今後3年間に全ての県有施設や補助金・負担金の廃止を打ち出したが、民間の社会福祉施設や保育所に対する各種補助金は廃止を行わず、また人材確保の観点から社会福祉施設職員等退職手当共済事業給付費補助金などを継続するよう求めるもの。	「具体的な制度設計にあたっては市町村と十分に調整を行うとしており、一方的に廃止するとは謳っていない。」「乱暴な計画だ。決まる前に歯止めをかけ反対していくべきだ。」	趣旨採択 賛成10人

陳情の件名	陳　情　内　容	討論など審査内容	本会議採決
国保への国庫負担の拡充を求める国への意見書提出についての陳情	国民健康保険法改正で、国保の総収入に占める国庫支出金の割合は80年代の50%程度から2007年度には25%まで低下した。国保改善に向け、国に国民健康保険への国庫負担の大幅な拡充を求めるもの。	「全国市長会国民健康保険対策特別委員会でも国保を将来にわたり持続可能な制度とするための財政基盤の拡充強化をしている。」「景気が悪いときに国民に負担を求めても逆効果である。」	趣旨採択 賛成10人
県民のいのちと暮らしをまもる県単独制度と県有施設等の継続を求める陳情	県緊急財政対策本部調査会は、県有施設や出先機関を全廃し、市町村への補助金、負担金も全廃を原則に見直す方向を打ち出したが、県民のいのちと暮らしを守る県単独制度と県有施設等が継続・維持されるよう求めるもの。	「県の財政対策は必要で全般にわたり考えるべき。採択すれば県の財政対策案件全てに意見書を提出するようになり整合性がとれない。」「臨調の考えは危険。悪循環を引き起こさないために、守る姿勢を示すべき。」	趣旨採択 賛成10人
消費税増税中止を求める国への意見書提出についての陳情	「社会保障と税の一体改革」関連法案が成立し、消費税率を引上げるとしている。増税は消費を冷え込ませて景気の悪化を招き、地域経済を破壊し、労働者の解雇や失業も増加する。その防止のため消費税増税中止を求めるもの。	「少子高齢化により社会保障費は毎年増加しており、消費税増税分は社会保障のみに使うとしている。」「増税の前に他にやるべきことがある。」	不採択 賛成9人
建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書提出を求める陳情	アスベストを大量に使用したことによる健康被害は多くの労働者、国民に広がっている。国は石綿救済法を成立させたが極めて不十分だ。国に建設アスベスト被害者と遺族への救済制度創設や被害拡大根絶への対策強化等を求めるもの。	「石綿救済法が施行されても拡大の全容が計り知れない。被害者と遺族の早期救済と被害拡大の防止を国に求めることは当然だ。」	採択 全会一致 （意見書提出）
二宮町の医療・福祉制度を維持・継続するため、県補助金を継続するように県に意見書提出を求める陳情	県は財政危機を口実に県有施設や市町村補助金の廃止または削減の計画を打ち出した。町で実施している小児医療費、重度障害者医療費給付などの助成事業に対する県補助金を引き続き継続するよう求めるもの。	「具体的な制度設計にあたっては市町村と十分に調整を行おうとしている。財政対策は、個別ではなく全体で考えるべき。」「決まってからでは遅い。このような声は貴重なものとして県に伝えるべきだ。」	趣旨採択 賛成8人

議会運営委員会と議会だより編集委員会合同視察研修報告

（10/15～16）

千葉県流山市は、日経調査ランキング第一位

流山市は、24年の議会改革日本一になり、視察申込みが全国から殺到している。議会運営委員会と議会基本条例策定特別委員会は同じメンバーで取り組んだ。

二宮町も議会基本条例制定中のため時間を超過するほどの熱い質疑が交わされた。反問権の行使については議場での答弁を動画で拝見し、理解を深めた。また、議会報告会のあり方については、開催のお知らせはフェイスブックも利用し、議員が報告会の中継をインターネットで配信している。

また、パソコンの持込みは現在、委員会室と議場の登壇時のみで許可され、プロジェクターを活用した議論が行われている。

議会の情報発信が議会改革への第一歩　茨城県大洗町

議会だより編集委員会の視察で大洗町議会を訪問。

大洗町議会は平成23年の改選で議員定数を2名削減し、現在13名の議員で構成されている。

5年前より議会改革に着手し、先駆的に議会報告会の実施や反問権、一問一答方式の導入など、積極的に取り組んでいる。また議会だよりに「議員の各会議への出欠席の公表」「議案の賛否の公開」掲載など、議会への感心を高めるための見直しも行っている。大洗町議会議長から「同じ議員が継続して委員を務めることでより良い議会だよりを作ることができる。また入札により安くフルカラー印刷に変更できた。」との話があった。

市長の逆質問の録画に
新鮮な驚き！

議会基本条例制定特別委員会の報告

平成23年第1回定例会において、議会基本条例制定特別委員会を設置して以降、これまで17回にわたり委員会を開催した。

この間、廣瀬克哉法政大学法学部教授による講演会やアドバイス、また、開成町元町長露木順一氏の勉強会など開催、条例作成部会・逐条作成部会に分かれ作業を行った。

平成24年10月には条例案が完成し、議員全員での条例の意識共有のため、11月6日議会全員協議会を開催した。その後、11月20日に17回目の委員会を開催し、今後のスケジュール調整を行った。平成24年12月12日より平成25年1月11日までパブリックコメント（意見募集）を実施した。

平成25年第1回3月定例会に上程し議決予定。4月1日からの施行になる。

ずばり町政を問う

一般質問

12月12・13日の本会議では7名の議員が9件の問題を行政側に質問。前回に引き続き、手話通訳を導入している。この記事は本人の原稿に基づいて作成したもの。

定住促進事業の展開について

近藤　行宏議員

近藤　25年度からの町総合計画重点的方針トップに「定住人口の確保」が挙げられている。そこで①高齢者等の安心な暮らし支援策を具体的に、どうされていかれるのか。②子育て支援をどう充実されていかれるのか。③百合が丘保育園の今後の方針を示す時期では。④0～15歳、65～75歳に対する福祉施策の充実をどう高めていくのか。⑤若年層および定年後の十分な雇用機会の確保は。⑥住環境の整備に、今後どのように取組んでいかれるのかを伺う。

町長　若い世代は勿論、幅広い年齢層の方々に二宮で一生を過ごしていただけるような施策を展開する必要があると考える。テーマとしては非常に難しい。時間はかかるが、挑戦をしていく。

政策部長　高齢者等の安心な暮らし支援や子育て世代の定住促進などに、重点的に取組んでいく。また、各定住促進策を展開する上では、一定の目標や指標なども必要だ。

近藤　事業の数値目標は。

政策部長　今後10年間ということで、最低でも2万9000人を維持し、それ以上を目指す施策展開が今後求められる。

近藤　社会福祉協議会とシルバー人材センターとの連携を密にされ、定住促進に欠かせない高齢者や若い世代に対する施策など様々な施策に後退することなく、「誰もが住んで良かった」と言える町づくりに邁進されたい。

高齢者、子育て支援策の充実が定住促進には欠かせない

二宮町を支える産業の活性化の取組みについて

桑原　英俊議員

桑原　産業の活性化を目指した長期ビジョンを策定する考えがあるのかを、伺いたい。

都市経済部長　産業活性化については総合長期プランに位置づけているが、目標、計画、検証は大切であり、そのような計画が早いうちにできれば望ましい。

町長　日帰り観光を成功させたいが、試行錯誤している。時間をかけて大きな最終目的となるビジョンを掲げた町にする。

桑原　農業に就労したいと思う魅力、付加価値を発信しているか伺いたい。

都市経済部長　農地の有効活用として荒廃農地対策、高付加価値のある特産物の普及をしている。農業生産で一定の収入を得られるよう、農業環境の向上と魅力ある農業の再生に取り組んでいく。

桑原　オリーブ生産は、他の生産地に対抗できるのかを伺う。

都市経済部長　栽培普及計画は、町全体で約7千本の目標度である。このオリーブの付加価値化によって、他者と差別化を図る。

桑原　北口通り商店街の活性化事業に対する、今年度の取組みと次年度以降の構想を伺う。

都市経済部長　今年度は、花と緑を切り口としたストリートガーデン化事業と街並み形成の「場」を作る。

平成25年にブランディング事業計画を立案する。

オリーブオイルは健康に一番
健康長寿の里二宮に見合うオリーブ

公会計財務書類で見た二宮町の現状と今後の戦略を問う

添田　孝司議員

添田　二宮町では総務省公会計制度に基づき4つの財務諸表を作成している。その一つ貸借対照表は資産と負債を総体的に表し、他類似団体と比較することで、二宮町のこれまでの資産形成の特徴が分かる。大磯町や葉山町と比べ、一般会計の予算規模が小さいにもかかわらず総資産が同程度、又は大きいのはなぜか。

企画財政課長　葉山町と比較すると資産形成に投入してきた普通建設事業費が大きい。よって借方の資産額が大きく貸方の地方債と純資産が大きい。

添田　有形固定資産を目的別に葉山町と比較すると、生活インフラ・国土保全、教育及び産業振興が特に大きい。なぜか。

企画財政課長　各目的別に、（仮称）風致公園と道路整備、温水プール、ラディアン及び町民運動場、農道整備に大規模な金額を投入した結果だ。特に用地取得で差額が大きくなった。

添田　未利用地売却額を公共施設更新や再投資費用に充てる戦略はどうか。

政策部長　そのとおりであるが、有形固定資産の中では道路のような売れない土地も含まれる。遊休公用地を売却しているが、対象も減ってきている。資産運営の平準化として今後参考としたい。

添田　未利用地売却益で公共施設を更新した場合、他施設の更新準備に向け減価償却費分を蓄積する必要があり、その分行政コスト削減が求められる。

二宮町貸借対照表（平成23年3月31日現在）　（単位：千円）

借方（財産）		貸方（財源）	
（資産の部）		（負債の部）	
1．公共資産		1．固定負債	
（1）有形固定資産		（1）地方債	6,880,488
①生活インフラ・国土保全	12,096,783	（2）長期未払金	0
②教育	12,718,958	（3）退職手当引当金	1,476,415
③福祉	671,760	（4）損失補償等引当金	0
④環境衛生	1,776,780	固定負債合計	8,356,903
⑤産業振興	1,515,870		
⑥消防	673,957	2．流動負債	579,213
⑦総務	1,185,680		
有形固定資産合計	30,639,788	負債合計	8,936,116
（2）売却可能資産	140,000		
公共資産合計	30,779,788	（純資産の部）	
		純資産合計	23,632,755
2．投資等			
投資等合計	962,286		
3．流動資産			
流動資産合計	826,797		
資産合計	32,568,871	負債・純資産合計	32,568,871

貸借対照表で見る二宮町の
資産形成とその財源

遠距離を通学する中学生に対する町の支援について

脇　正文議員

脇　遠距離通学ゆえに可能性が高まる被害からの回避や、公教育における保護者の余計な出費を抑えるために、この生徒達にバス乗車無料券を配布することをどう考えるか。

教育次長　教育委員会として適正な通学距離と考え実施する考えはない。

脇　コミュニティバスに払う予算で町が無料券を買い、これを中学生、できれば小さな子ども、高齢者にも渡す考えはないか。

町長　論点が少しずれている。無理がある。実行するなら新たな税金を投入しなくてはいけない。

コミュニティバス運行には
税金の有効活用を

コミュニティバスは利用度が少なく無駄。合理的に沢山の人が利用できる方法を考えているところだ。コミュニティバスと、この件を一緒にする時期ではない。

教育長　教育委員会はバス・自転車通学を許しているが、徒歩通学が望ましいと指導していて、学校もそう指導していると聞いている。

脇　社会情勢が変わり、危険が非常に高まっている。遠距離通学の中学生などへのバスの無料乗車券配布を強く要望する。

その他、①県道西友前と、西友前から二宮高校入り口交差点までの間の横断歩道設置について。②学校水泳授業で、一色小学校が温水プールを使わない理由と、そのため山西プールを4校で使うことが適切かを質問。

新システム関連3法案による子育て支援策は

神保　順子議員

神保　「子ども子育て支援法」による具現化に向けての準備が始められた。町については人口減による少子化が深刻な問題となっている。新システムでは自治体が主体となって、地域の特性に合わせた子育て支援ができることになっている。今後、子育て支援は町の将来を決める重要な位置づけとなるため、今回のニーズ調査は大変重要な意味を持つ。調査について聞く。

健康福祉部長　平成25年の夏頃に国の基本方針が出る。それを基に町は調査を行う予定。

神保　今回のニーズ調査は自治体の特性を汲み取った独自項目を、調査に組み入れることができる。国の方針が出る前に検討すべきではないか。また「子ども子育て会議」は努力義務となっているが、町では設置するのか。

健康福祉部長　現在の次世代育成支援計画の協議会を活用したいと考えている。名称は未定だが、25年早期での設置を検討中である。調査項目については国の動向をみてからとしたい。

神保　これまでの協議会を活用するなら子育て中の保護者や保育事業関係者をいれることが必要。町内私立幼稚園では延長保育が年々増え「認定子ども園」への移行も検討していると聞く。しっかりと連携するために窓口の一本化が必要。調査項目は必要なニーズの掘り起こしをするための独自項目を早期に検討すべき。

たくさんの子どもの笑顔が
あふれる町づくりを目指して!!

地域間競争に勝ち残る広報戦略と計画づくりを

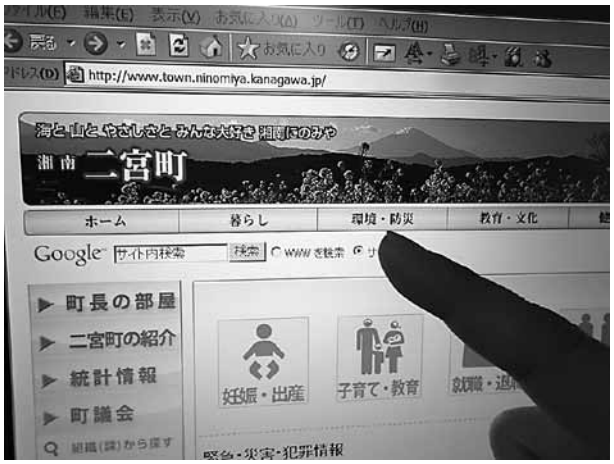
小笠原　陶子議員

小笠原　地域間競争に勝ち残り、住民に開かれた自治体になるために、的確な行動戦略に基づいた行政広報、地域広報が必要である。二宮の人口減少を止めるために定住促進を進める話があり、二宮町をアピールするための広報の必要性も増す。そこで広報戦略の文書化をすることが望まれる。また、文書化自体が目的ではなく、実質的な戦略の共有が図られることが大切だ。広報の基本目標と事業別広報戦略と策定のスケジュールを聞く。

二宮PR大作戦を展開　職員のスキル向上も

政策部長　行政広報の基本目標は、社会情勢の変化とともに見直しを行い、正確に、公平に、適正なタイミングで町民の目線に立った、誰もがわかりやすい広報を行うことだ。広報戦略については、現在、策定を進めている次期総合計画の前期基本計画において、町民、町民団体、事業者との連携による二宮PR大作戦を展開する。職員の広報のスキル向上もあわせて、計画を進める。情報媒体が多様化している中、さらに有効な手段を取り入れ、創意工夫し、SNSの活用は慎重に検討する。広報連絡委員は各課の班長級を置き、計18名の職員で毎月1回、意見交換を実施している。

小笠原　広報連絡委員にはもっと女性や20代職員の視点を活用してほしい。



SNS（ソーシャルネットワークサービス）との併用で魅力あるHPを

ごみ処理広域化による分別変更や施設稼働を問う

根岸　ゆき子議員

根岸　町は今年3月26日にごみ処理広域化基本協定を締結。その後、広域化の各施設の進捗状況はどうなっているのか。

町民生活部長　二宮町の剪定枝資源化施設は基礎調査を実施中。公的資金で民間活力を活かすPFI手法で進め、施設規模は14t／日、27年度の稼働。平塚市のごみ焼却施設は25年度稼働だが、二宮からの搬出は28年度となる。大磯町の厨芥類資源化施設は今年度中に施設の必要性及び処理方式等の方向性が示せる。

根岸　町民にとって、1市2町における分別区分の統一によって起きる資源ごみ等の出し方の変更は、生活に大きく影響する。移行スケジュールと説明会について問う。

分別変更は説明会で

町民生活部長　27年度から分け方の一括変更をする。樹脂類のペットボトル、発砲スチロール等の容器包装プラについては二宮リサイクルセンター稼働の31年度までは現在同様民間搬出で処理する。26年度中には全ての地区で説明会を行う。

根岸　大型ごみは予約制で直接収集できる方法を実施すべきだ。コール制はどうか。

コール制を検討する

町民生活部長　分別区分の統一の方向性を見定め、福祉面も含めて検討する。

根岸　剪定枝資源化施設やごみ分別方法の住民説明の丁寧な実施を要望。

高齢社会でごみの持ち込みは大変
大型ごみは町内で解体される

『議会基本条例』全力投球で発進！

私の抱負

二宮町議会
議長
池田　宏議員

教育福祉常任委員
（無所属）二宮一二一一

皆様におかれましては、夢と希望に満ちた輝かしい平成25年の新春をご家族と共に、ご健勝にてお迎えのことと心からお喜び申しあげます。

12月6日の議会で議長に選任され、新しい体制で心新たにしてスタートすることになりました。その重責を改めて感じると共に、身の引き締まる思いでいっぱいです。この上は、全精力を傾注し、この大任を果たしたいと念願している次第です。

いま、議会では、議会の基本理念や議員の活動原則などを定めた議会基本条例の制定に向け準備を進めているところです。平成25年4月1日が施行予定ですが、その後は、議会報告会などひとつひとつ着実にこなし、二宮町議会に根付いた議会基本条例にしたいと思っています。

二宮町では、現在、平成25年度から始まる「次期総合計画」の策定に向け準備を進めています。将来の町づくりの実施計画が注目されます。何が重要か、議会としてのチェック機能を十分に果たすために、議員の自己研鑽はもちろんのこと調査研究を進めて信頼される議会運営に努めると共に、提案型の議会にして参ります。

最後に議会を代表して、皆様のご健勝とご多幸を祈念して、挨拶といたします。

副議長

小笠原陶子
議員

総務建設経済常任委員
（無所属）百合が丘二-一〇-一〇

昨年の12月に副議長に選任されました。

気持ちを引き締め、議長と一体感を持って議会運営に努めてまいります。

世界的な不況のなかで迎えた新しい年ですが、全ての町民の皆様が明るい気持ちを持っていただけるような町づくりを進めていきます。

今年は、新しい総合計画に沿った事業が展開されます。多くの町民の皆様の参画のもとに作成されたこの計画を、絵だけで終わらせず実のあるものにしてまいります。

2年前から取り組んだ議会基本条例策定についても、いよいよ3月議会に上程予定です。その成立と速やかな運用に努力いたします。

気候温暖で緑あふれ、市民活動の拠点が整備され、活発な活動が展開されているこの二宮町。その素晴らしさをもっと知っていただくために、的確な情報発信をします。常精進（じょうしょうじん）を、お誓い致します。

添田孝司
議員

総務建設経済常任委員長
（無所属）二宮五九二-四

議会は町民の意思決定機関であるので、より多くの町民の意見を代表した討議と議決がなされるべきです。本年4月から施行予定の議会基本条例が的確に運用され、町民の議会への関心が更に高まり、議会や議員へより多くの意見を頂き議会の役割が果たせるように皆と共に頑張ります。

西山宗一
議員

総務建設経済常任副委員長
（無所属）山西五六二

乱立する政党の中、ふたたび与野党大逆転、期待と不安の国政だが、町政は待ってはいられない。少子高齢化による人口減少、財政厳しい中、教育福祉、環境防災等課題は多い。多様化する町民ニーズを的確に把握し、夢と希望のもてる安心・安全なまちづくりに取り組みたい。

杉崎俊雄
議員

総務建設経済常任委員
（無所属）山西六五

議長在職中は皆様方には身に余るご支援、ご指導を賜り心より感謝申し上げます。

残された任期2年は議員経験を生かし、二宮町の将来を見据えたまちづくりを念頭におき、町民の想いを確実に町政に反映させる為、是々非々で取り組み「すべては町民のため」を実践します。

桑原英俊
議員

総務建設経済常任委員
（無所属）二宮八八四-イ号

美しい自然に囲まれた長寿の里二宮、そんな素敵な私達の町も、少子高齢化の急速な進展、人口減少問題など様々な要因で社会経済が悪化し、長引く不況を抜け出せない状況にあります。産業全体の問題として対策を講じます。

素晴らしい町にするために全力を尽くしてまいります。

近藤行宏
議員

総務建設経済常任委員
（無所属）富士見が丘二九七　ヴィラージュ五号

25年度からの町総合計画も発表され、町にとって重要な10年間の初年度を迎えます。国政においても政局が大きく変わろうとしています。町議として何をすべきか、真剣に考え、行動を起していきます。高齢者が安心して暮らせる町、子育てがしやすい町を目指し全力で頑張っていきます。

三橋智子
議員

総務建設経済常任委員
（公明党）緑が丘一-四一〇サンヒルズ西山A一〇一

後半2年間の議会体制が決まり、監査委員の大任を拝しました。その役割と責務を十分果たせるよう、全力で頑張ります。

本年は議会基本条例施行元年になります。町民の皆様と知恵を出し合い、より良いまちづくりの先頭に立てる議会を目指して働いてまいります。

脇　正文
議員

教育福祉常任委員長
（無所属）中里六九六-一

今年は今まで以上に、創造の町「湘南二宮」をアピールし、年配者と若者の融合で、伝統を守り、他人を思いやる人材を育てるよう努めていきたいと思います。

これからも、町民の皆様のお声をたくさん頂き、住みよい町づくりを町政に訴えていきたいと思います。

浅賀一伸
議員

教育福祉常任副委員長
（日本共産党）二宮九二シーサイドヴィラ二〇五号

議員を務めさせて頂き3年目に入りました。なかなか少子高齢化に歯止めがかかりません。安心して子どもが産める社会造りや次世代を担っていく人々に未来を託せるよう気を引締めて頑張っていきます。福祉を守り、住みたい町と思って頂けるよう、皆さんの声を届けていきます。

神保順子
議員

教育福祉常任委員
（神奈川ネット）富士見が丘二一〇二八

これまで国がリーダーシップをとってきた時代から地方自治体の主体性が求められる時代へと転換しました。と同時に二元代表制機関である「議会」の役割はこれまで以上に重要です。本来のあるべき緊張ある議会と行政の関係を作るために、議員としての質の向上に精進して参ります。

根岸ゆき子
議員

教育福祉常任委員
（無所属）緑が丘二一一四-四

医療・福祉、経済・雇用、安全・安心。社会状況の厳しさが言われ始めてからの浮揚策に確たるものなく、国では政権交代がなされました。

今後町でも歳出抑制の方針です。議会の新体制、議会基本条例の制定、新総合計画スタート等、節目を迎える年、前を向いて合議を深めます。

二見泰弘
議員

教育福祉常任委員
（無所属）二宮八三二一

開かれた議会・わかりやすい議会、議会改革への取り組みのため、昨年は議会基本条例制定に向け全力で邁進してまいりました。4月から施行予定の基本条例を順調に推進するため、頑張ります。また少子高齢化・人口減少・財政難など町の課題は山積、この難問解決に全力で臨みます。

もっと知りたい
蘇峰堂（そほうどう）の魅力
その1

二宮町の南東部の閑静な住宅街に、徳富蘇峰の記念館が建立されています。併設された梅園の古木が冷たい空気の中に凛と美しく、多くの人々が鑑賞に訪れています。

徳富蘇峰記念館は（以下記念館）蘇峰の晩年の秘書を務めた塩崎彦市氏が、昭和44年に、二宮の塩崎邸内に建築し、梅園と記念館を合わせて蘇峰堂と名付けました。

塩崎氏は早くより蘇峰を敬慕し、戦前・戦中・戦後を秘書として身辺に侍し、蘇峰の逝去に至るまで苦楽を共にされました。その誠意に対し蘇峰は、書簡・蔵書・揮毫（きごう）・原稿・遺品の多数を彼に託しました。

記念館は多くの近代史の資料を公開する目的で建設され、この小さな館内には明治・大正・昭和の文化そのものが凝縮されています。

さて、今年はNHKの大河ドラマ「八重の桜」が1月から放映されています。綾瀬はるかが演じる八重は、維新後、戊辰戦争の落日に銃を持って参戦し幕末のジャンヌ・ダルクとも称される壮絶な人生を繰り広げます。その後、アメリカ帰りの新島襄の妻となり、篤志看護婦として日清・日露戦争に赴きます。

その新島八重の直筆の手紙や葉書きが6通、記念館に保存されています。

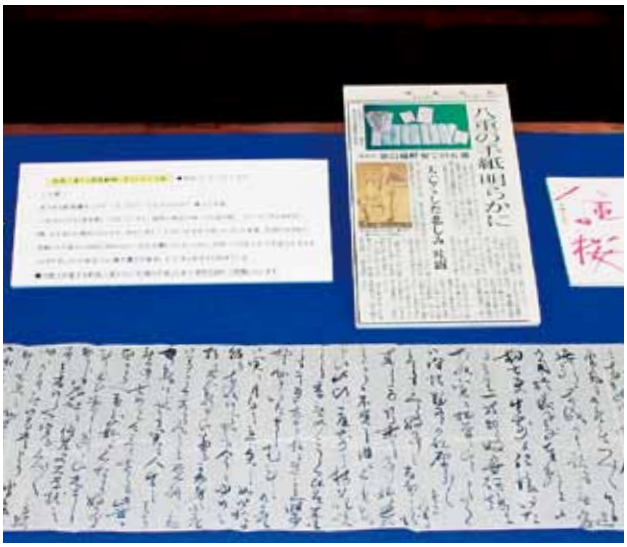
達筆な筆運びと繊細な文章にふれて、悠久の彼方の出来事を身近に感じとってもらえることで、合わせて徳富蘇峰の偉大さを実感することができます。

今年度の特別展は、その「八重の桜」に呼応した「新島八重からの6通の手紙展」です。

どうぞ足を運んで目の前の史実を楽しんでみてください。

（このコラムは4回まで掲載します。）

蘇峰堂URL　http://www2.ocn.ne.jp/~tsoho/



夫への愛情あふれる八重の直筆の手紙

八重の桜のポスターを持つ
塩崎学芸員

カメラルポ ★残したい風景★

ふれあいもちつき大会（中里地区）

茅の輪くぐって初詣（川匂神社）

編集室だより

議長選や委員会決めがあり、あわただしい12月議会でした。議案もさることながら、構成メンバーの変更があると落ち着かないものです。『議会基本条例発信』の年です。議会だよりも立派に役割を果たすため、編集委員一同、力を出し合い編集作業に励みます！

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。（根岸）

議会だより編集委員会
委員長　根岸ゆき子
副委員長　脇　正文
委員　杉崎　俊雄
委員　桑原　英俊
委員　近藤　行宏
委員　三橋　智子

発行／神奈川県二宮町議会　編集／議会だより編集委員会　〒259-0196　中郡二宮町二宮961　TEL 0463-71-3311
FAX 0463-72-6691　メールアドレス　gikai@town.ninomiya.kanagawa.jp　印刷／神奈川新聞社